

# 再生医療に向けた足場材料研究開発の最前線

講師：陳 国平 先生（グループリーダー）

物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点

再生医療において、足場材料は細胞を三次元的に分布させ、特定の形状を賦与しつつ、再生のためのスペースを提供するための支持体として重要な役割を果たしている。また、足場材料は、細胞の接着、増殖から基質産生へ向かうように細胞の分化を制御できること、高い生体親和性、機械強度など、実に様々な性質が要求される。加えて、理想的な組織再生を行うためには、増殖した細胞と産生された細胞外マトリックスが組織化し、新しい生体組織が形成される段階で多孔質材料は新しい組織に置換されることが望ましい。そのために生体吸収性高分子の足場材料はよく用いられている。本セミナーでは、再生医療の足場材料の研究開発に関する最先端の成果を紹介する。

【講師経歴】1997年4月～2000年9月 奈良先端科学技術大学院大学および工業技術院 ポスドク、2000年10月～2004年3月 産業技術総合研究所 研究員、主任研究員、2004年4月～2006年12月 物質・材料研究機構 主幹研究員、2007年1月～2011年3月 物質・材料研究機構グループリーダー、2011年4月～2017年3月 物質・材料研究機構 MANA 主任研究者・ユニット長、2017年4月～現在 物質・材料研究機構機能性材料研究拠点生体組織再生材料グループグループリーダー、2013年10月～現在 筑波大学数理物質系教授(連係大学院)

【活動】2006年4月～現在;日本バイオマテリアル学会評議員、2008年4月～2018年3月;日本高分子学会医用高分子研究会運営委員、2008年10月～2011年9月;JSPS「再生医療の実用化」に関する研究開発専門委員会委員、2012年9月～現在;日本再生医療学会評議員、2015年 英国王立化学会フェロー、2017年 American Institute for Medical and Biological Engineering(AIMBE) フェロー、2015年11月～現在 日本バイオマテリアル学会理事、2016年1月～2016年12月 TERMIS-AP の council member、2017年1月～2019年12月 TERMIS-AP の Member-at-Large、2013年7月～現在 英国王立化学会の Journal of materials Chemistry B, Associate Editor

開催日時	2020年8月19日(水) 13:30～16:30	<p>※本セミナーは、<b>当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。</b>推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用の URL を別途メールにてご連絡いたします。</p> <p><b>詳細は裏面をご覧ください。</b></p> <p>★受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。</p>
受講料	<p>44,000円 +税 ※ 資料付</p> <p>*メルマガ登録者 <b>35,000円 +税 (20%引)</b></p> <p>*アカデミック価格 24,000円 +税</p>	

アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。

★【メルマガ会員特典】通常の特典(2名目無料、3名目以降半額)は適用外となりますが、**定価の20%引き**でご参加いただけます。

★【受講対象者】再生医療の材料研究開発に関わる、或いは興味がある方。★【セミナーで得られる知識】本セミナーでは、再生医療に用いられる足場材料の役割と必要条件をレビューしながら、最近の進歩と今後の展開も合わせて紹介する。特に、足場材料の構造制御技術や複合化技術、生体親和性の向上方法などの例を挙げながら、組織再生に相応しい足場材料およびその製造方法について述べる。また、中国における再生医療及び足場材料の研究開発の現状も紹介する。

## 【本ウェビナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

### 1. 再生医療における足場材料の役割

a) 再生医療の現状及び要素技術 b) 足場材料の機能及び役割

### 2. 足場材料の必要条件

a) 足場材料の必要条件及び種類 b) 足場材料と細胞の相互作用 c) 生体適合性 d) 生体吸収性 e) 力学強度 f) 足場材料の機能評価

### 3. 足場材料の現状

a) 足場材料の種類 b) 生体吸収性合成高分子の足場材料 c) 天然高分子の足場材料 d) 細胞外マトリックス足場材料 e) 自家足場材料 f) 複合足場材料 g) 階層構造の足場材料 h) パターン化構造の足場材料

### 4. 足場材料の作製技術

a) ボローゲンリーチング法 b) 相分離法 c) 乳濁液凍結乾燥法 d) 繊維融着法 e) 三次元プリンティング法 f) 氷微粒子法 g) 生体模倣型マトリックス材料の作製法 h) 自家足場材料の作製法 i) 複合多孔質材料の作製法

### 5. 足場材料の再生医療への応用

a) 軟骨再生 b) 骨再生 c) 骨・軟骨再生 d) 皮膚再生 e) 筋肉再生 f) 心臓再生 g) 肝臓再生 h) 肺再生

### 6. 中国における再生医療及び足場材料の研究開発現状

### 7. 今後の展望

弊社記入欄		ウェビナー申込書	
セミナー名		再生医療に向けた足場材料の役割と作製方法	
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		会社名(団体名)	TEL :
		住所 〒	FAX :
			E-mail :
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
お支払方法		銀行振込 ・ その他	氏名
			お支払予定
			2020年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号  
**03-3291-5789**

2020年8月19日（水）開催

# 再生医療に向けた足場材料研究開発の最前線

**講師：陳 国平 先生（グループリーダー）**

**物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点**

**当該セミナーは、ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）です！**

## 【ライブ配信対応セミナー】

- ・本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。
- ・セミナー開催日時に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・事前配布資料は、当日までに届くように事前に郵送をいたします。開催日時に間に合わない場合には、後日郵送するなどの方法で対応いたします。
- ・講師に了解を得た場合には資料をPDFで配布する場合がございますが、参加者のみご利用に限定いたします。他の方への転送、WEBへの掲載などは固くお断りいたします。
- ・開催日時にリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- ・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。  
<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

## 【お申込み後の流れ】

- ・開催日時前に、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。  
お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- ・事前登録完了後、ウェビナー参加用URLをお送りいたします  
※参加用URLはご登録者様専用のため、他の人との共有はできません。

## 【注意事項】

- ・本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元のPCなどの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

[https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-Mac-](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-Mac-Linux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

[Linux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-Mac-Linux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- ・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が悪化する場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- ・万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- ・受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。